

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

3-11

3-11

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
節			事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	11 史跡の保存・整備		関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	<p>【事業目的】 ○国史跡「佐渡金銀山遺跡」の保存活用計画や調査研究に基づく国史跡の修理や整備事業を推進し、構成資産の保全を図る。</p> <p>【事業内容】 ○文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った保存・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な保存や整備を行う。</p>			
事業計画と実績	<p>③〇 【30年度計画】 ●平成31年度の策定に向けて、引き続き史跡整備基本計画の見直しを図る。 ●史跡整備基本計画の策定に向けて、専門家や文化庁の指導を得ながら、専門家会議等で内容の審議を実施する。</p> <p>【30年度実績】 ●史跡整備基本計画策定に向けた作業を行った。 ●史跡整備基本計画策定に向けて専門家や文化庁等の指導を得ながら、専門家会議において内容の審議を行った。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■整備基本計画の策定にあたり、史跡が広範囲に分布し、その内容も多岐にわたることから、史跡の整備・修理方針と事業化の優先順位について、十分な検討が必要である。</p> <p>【今後の取組】 ■専門家会議での審議を継続し、令和元年度に史跡整備基本計画を策定する。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) c]</p> <p>◇概ね計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) C]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。